

実地研修報告書

財団法人海外技術者研修協会 理事長 殿

受入企業 **研修マシンリー株式会社**
受入責任者 **井上 祐紀**
所属部署 **人事部**
役職 **部長** 印

下記研修生の実地研修結果について以下のとおりご報告致します。

研修生番号	10△△×××	実地研修予定期間	2010 年 5 月 26 日～2010 年 10 月 8 日 (136 日間)
研修生氏名	SOMPON 性別 男	実地研修期間	2010 年 5 月 26 日～2010 年 10 月 8 日 (136 日間)
国・地域	タイ	一時帰国	年 月 日～年 月 日 (日間)
AOTS研修コース	10-Y-01	入院期間	年 月 日～年 月 日 (日間)

1. AOTS研修コースの結果

期間 (実績)	研修項目 (実績)	研修内容 (実績)	達成目標・水準 (実績)	一般研修は以下の習得を目的としています。実地研修中を通して研修生の能力・知識に満足していますか。	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	実地研修中の研修生の日本語能力に満足されましたか。	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
2010.4.7 ~ 2010.5.25	財団法人海外技術者研修協会 (AOTS) の集団研修コース 202 時間	● 一般研修 (標準非実務研修時間数) □ J13W □ J6W □ A9D □ 9D □ (433) (202) (60) (60)	■ 一般研修: 実地研修 (企業内個別研修) への円滑な導入を可能とする。	a. 生活力 (買い物、食生活等、独りで生活する能力)	5 ●	4 ○	3 ○	2 ○	1 ○	a. 研修上必要な会話力	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○
非実務研修		□ 管理研修: () (右の質問にご回答いただく必要はありません。)	□ 管理研修: 経営管理者にとって必要な知識や技術を習得する。	b. 自己管理能力 (健康、時間等を管理する能力)	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○	b. 生活上必要な会話力	5 ●	4 ○	3 ○	2 ○	1 ○
				c. 異文化適応力 (異文化社会に適応するための能力)	5 ●	4 ○	3 ○	2 ○	1 ○	c. 聴解力	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○
				d. 文化・社会理解 (日本の文化や社会の特徴の理解)	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○	d. 文法力	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○
				e. 日本企業理解 (日本経済や日本企業の特徴の理解)	5 ●	4 ○	3 ○	2 ○	1 ○	e. 文字力 (ひらがな)	5 ●	4 ○	3 ○	2 ○	1 ○
				f. 実地研修理解 (実地研修の目的や目標、方法の理解)	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○	f. 文字力 (カタカナ)	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○
				g. コミュニケーション能力 (指導員等とのコミュニケーション能力)	5 ●	4 ○	3 ○	2 ○	1 ○	g. 文字力 (漢字)	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○
			(総合) 一般研修の目標の達成度 (実地研修への円滑な導入状況) に満足していますか。	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○	AOTS日本語研修に対する満足度	5 ○	4 ●	3 ○	2 ○	1 ○	

2. 実地研修の結果

期間 (実績)	研修項目 (実績)	研修内容 (実績)	達成目標・水準 (実績)	計画からの変更の有無・内容	達成目標達成度及び所見	実施言語
2010.5.26 ~ 2010.6.13	導入教育 製品基礎教育 非実務研修 25 時間 実務研修 66 時間	・会社概要、生活上の注意、 ・安全教育 ・自社製品知識、品質のシステム ・リアクション、ショックアップ ソーパー (以下、「製品」) に 関わる基礎技術 について	・実地研修環境への導入 (外国人登録、社内連絡網など) ・当社製品に関する知識向上 ・取扱製品に関する製造技術の理解	○ あり ● なし (内容)	5 ● 80%~ 4 ○ 70~79% 3 ○ 60~69% 2 ○ 40~59% 1 ○ 40%未満 (所見) 研修生が非常に意欲的に研修に取り組んだため、 研修内容を十分に習得することができた。	(複数回答可) □ 日本語 □ 英語 □ 他言語 言語名
2010.6.14 ~ 2010.6.24	要素技術の基本 製品の構造、機能 非実務研修 20 時間 実務研修 50 時間	・製品の構造・機能・性能 ・部品の材質について習得	・実際の作用状況を確認し、 設計を行う上での枠組みがイメージできる。 ・材料の性質・特性を理解し、 ユーザー環境に適合した設計への意識付けを行う。	○ あり ● なし (内容)	5 ○ 80%~ 4 ● 70~79% 3 ○ 60~69% 2 ○ 40~59% 1 ○ 40%未満 (所見) 製品設計のために必要な要素技術を問題なく習得することができた。	(複数回答可) □ 日本語 □ 英語 □ 他言語 言語名 タイ語
2010.6.25 ~ 2010.8.12	リアクション、 ショックアップソーパーの 基本設計 非実務研修 110 時間 実務研修 117 時間	・CADの操作方法 ・設計製図研修…製図、C AD ・製品の仕様書、設計基準、 公的規格 ・設計の出図業務の習得	・当社基準への習熟 ・CAD: 2~3年の実務経験者 レベルまで向上 ・設計~製造部門への情報の 流れを理解	● あり ○ なし (内容) CADに関する知識が不足していたため、CAD の操作方法についての研修を加えた。	5 ○ 80%~ 4 ○ 70~79% 3 ● 60~69% 2 ○ 40~59% 1 ○ 40%未満 (所見) CADの操作に関する基本知識が不足していたため、 指導にかなりの時間を要した。そのため、達成 目標達成度がやや低くなった。	(複数回答可) □ 日本語 □ 英語 □ 他言語 言語名 タイ語
2010.8.13 ~ 2010.9.22	製品設計の試作、検証、評価 非実務研修 90 時間 実務研修 106 時間	・設計製図研修…製図、CAD ・特殊な仕様の設計について ・改造に伴う設計の試作と検証 及び 評価方法 ・見積り方法	・事例を用いて既製品以外の 対応方法を理解 ・当社基準への理解、初歩的な 仕様変更への対応力を習得	● あり ○ なし (内容) 前期間で十分に習得できなかった設計製図に関 する研修を引き続き実施した。	5 ● 80%~ 4 ○ 70~79% 3 ○ 60~69% 2 ○ 40~59% 1 ○ 40%未満 (所見) 前期間で十分に習得できなかった研修内容について も、この期間で習得することができた。また、 製品設計の試作、検証、評価についても幅広く理 解を深め、費用見積りについても十分な見識を身に 付けた。	(複数回答可) □ 日本語 □ 英語 □ 他言語 言語名 タイ語
2010.9.23 ~ 2010.10.8	品質管理の基本 関連工場の見学 まとめ (発表会準備) 非実務研修 27 時間 実務研修 57 時間	・検査方法の習得 ・問題解決の手法 ・得意先、協力先工場の見学 ・成果発表会	・当社基準への習熟 ・派遣元での判断基準、帰国後 の連携体系の確立 ・ユーザーへの紹介、帰国後の 動機付け ・役員へのプレゼンテーション	○ あり ● なし (内容)	5 ○ 80%~ 4 ● 70~79% 3 ○ 60~69% 2 ○ 40~59% 1 ○ 40%未満 (所見) 製品設計に必要な管理技術はある程度のレベルま では習得できたが、部下への指導力については、 ややも足りないところがある。	(複数回答可) □ 日本語 □ 英語 □ 他言語 言語名 タイ語

3. 実地研修の総合評価

研修目的	研修目的達成度及び所見	研修期間	研修生の取組み姿勢	AOTSに対するご意見・ご要望 (自由にお書きください。)
当社製品 (ショックアップソーパー、リアクション) の一 般知識習得及び製品設計に必要な技術の習得を通し本国 ニーズに対応した製品設計ができるようにする。	5 ● 80%~ 4 ○ 70~79% 3 ○ 60~69% 2 ○ 40~59% 1 ○ 40%未満 (所見) 当社製品の一般知識及び製品設計に必要な技術は概ね身に付けた。今後それを活用して本国 ニーズに対応した製品設計ができるようになるためには、さらに一定期間の経験が必要とな ると思われる。	5 ○ 長すぎる 4 ○ 少し長い 3 ● 適当 2 ○ 少し短い 1 ○ 短すぎる	5 ○ とても熱心 4 ● 熱心 3 ○ 普通 2 ○ もう少し努力が必要 1 ○ 問題があった	(受入企業ご記入)